

## 令和 8 年度昭和館運営事業計画案について

## 1 令和 8 年度昭和館運営事業予算（案）

	令和 8 年度	令和 7 年度	前年度比
<歳入関係>			
1. 昭和館運営委託費	443,252 千円	443,252 千円	0 千円
2. 昭和館運営収入	19,255 千円	19,255 千円	0 千円
合 計	462,507 千円	462,507 千円	0 千円
<歳出関係>			
1. 事務人件費等	57,229 千円	60,229 千円	△3,000 千円
2. 管理諸費	173,718 千円	174,000 千円	△282 千円
3. 事業人件費等	115,027 千円	108,527 千円	6,500 千円
4. 資料購入・整備関係	17,950 千円	21,450 千円	△3,500 千円
5. 情報機器関係	47,000 千円	49,500 千円	△2,500 千円
6. 展示替え経費	1,000 千円	1,000 千円	0 千円
7. 特別企画展経費	19,000 千円	15,000 千円	4,000 千円
8. 来館促進経費	14,933 千円	16,151 千円	△1,218 千円
9. その他	16,650 千円	16,650 千円	0 千円
合 計	462,507 千円	462,507 千円	0 千円

※ 上記に加え、2階広場の活用経費、昭和 40 年代の資料収集費等を令和 7 年度補正予算に 46,002 千円計上し、令和 8 年度に繰り越して実施予定。

## 2 広報活動計画

### (1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館の事業内容のPR及び春、夏の特別企画展の案内を行い、交通機関の主要駅、九段郵便局にポスター等を掲示する。また、都営新宿線九段下駅4出口、東京メトロ東西線2番ホームの電飾掲示板に掲示し、集客に努める。さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかどく」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区区報に当館の紹介記事を掲載する。

その他、新聞広告等については、主要新聞等や日本教育新聞に掲載をするとともに、問い合わせや取材依頼を積極的に受け、無料で当館の記事が掲載してもらえるよう努める。

### (2) 広報資料の送付等

「昭和館館報」については、東京特別区、各省庁図書館に対し送付する。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には、「昭和のくらし研究」を送付し、当館の周知を図る。

また、令和8年5月頃に、昭和館と学校をつなぐ広報誌「昭和館だより」第44号を1都3県の公立小学校と令和7年度の来館小学校・中学校、さらに、東京都の校長会等で配付依頼した公立小学校に発送し当館の周知を図る。

加えて、小学校社会科研究会の各種会議に出席し、社会科見学等の学校行事としての利用を依頼し、来館促進を図る。

### (3) 刊行物の発刊

令和8年度は以下の刊行物を発刊することを予定している。

- ① 「昭和館館報」27号（令和7年度版）
- ② 「昭和のくらし研究」（第25号）

## 3 来館促進対策

### (1) 第25回昭和館作文コンクール

昭和館・特別企画展を見学および、オーラルヒストリー、次世代の語り部講話を視聴した小・中学生を対象とした作文コンクールを令和7年度に引き続き実施する。

- ・対象者：小・中学生（上記条件を満たしたもの）
- ・募集期間：令和8年5月～令和9年1月

### (2) 第19回昭和館中学生・高校生ポスターコンクール

中学生・高校生の来館促進を図るため、昭和館及び特別企画展を見学した中学生・高校生を対象としたポスターコンクールを令和7年度に引き続き実施する。

- ・対象者：中学生・高校生（上記条件を満たしたもの）
- ・募集期間：令和8年5月上旬～令和9年1月中旬（※予定）

### (3) 貸出キット

実物資料や展示用パネル等の貸出を行う。

小中高等学校、公共団体及び各地の遺族団体に働き掛け、更なる利用促進を図る。

#### (4) 紙芝居定期上演会

昭和館所蔵の紙芝居上演会を、奇数月の第4土曜日にニュースシアターまたは2階ひろばにおいて実施する。

開催予定日：令和8年5月23日、7月25日、9月26日、11月28日、  
令和9年1月23日、3月27日

## 4 展示事業

### (1) 常設展示

- ① 長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行う。1回目は令和8年6月29日(月)から7月1日(水)の期間、2回目は令和9年1月30日(土)から2月1日(月)の期間で休室し資料交換作業を実施する。

### (2) 特別企画展

- ① 「昭和映画録 ― 二度の黄金時代 ―」【資料4】

○開催期間

令和8年3月20日(金)～5月10日(日)

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

昭和の時代、日本映画は二度の黄金期を経験し発展を遂げてきた。無声映画からトーキー映画に代わる1930年代、そして映画が大衆娯楽の中心として絶頂期を迎える1950年代。この黄金期の間には、戦争・占領・復興を経て変化し続ける日本社会の姿があった。

昭和100年を迎えた今、本企画展では映画の歴史をたどりながら、社会・文化と大きく変容を遂げた昭和の時代を振り返る。

## ② 「紙芝居展」(仮称)

### ○開催期間

令和8年7月18日(土)～9月6日(日)

### ○後援(申請予定)

千代田区、千代田区教育委員会(申請予定)

### ○内容

昭和初頭に紙を一枚ずつめくって演じる紙芝居ができ、当初は手描きで作られていたが、教育や啓発活動に用いられるようになり、印刷紙芝居が誕生した。昭和12年に日中戦争が始まると、国策普及にも印刷紙芝居が活用された。

終戦を迎え、街頭紙芝居がふたたび街中にあらわれ、娯楽として受容されるが、昭和30年代以降はさまざまな娯楽メディアの台頭によって街頭紙芝居は次第に姿を消していった。

本企画展では、昭和館が所蔵する約700点の紙芝居コレクションを中心に、紙芝居が担った役割やその変遷を紹介します。

## (3) 巡回特別企画展

### ① 昭和館巡回特別企画展「くらしにみる昭和の時代 茨城展」

### ○開催期間

令和8年12月3日(木)～12月12日(木)

### ○会場

水戸市民会館 展示室(茨城県水戸市泉町1-7-1)

### ○協力・後援等

協力 一般財団法人茨城県遺族会および日本遺族会第2ブロック

後援 茨城県 茨城県教育委員会 水戸市 水戸市教育委員会  
在茨城県内マスコミ各社(申請予定)

### ○内容

本展では戦争がもたらした苦難や昭和の人々のくらしぶりを後世代に伝えるため、当時の茨城県の実物資料・写真資料・映像資料等を交えて人々のくらしを紹介する。

## 5 資料収集

### (1) 実物資料の収集

令和7年度に引き続き、収蔵庫の整理を進める。資料収集については、昭和館の伝える範囲の拡大に伴い、これまで収集してこなかった年代の資料についても長期的な展望に立ち、資料情報を慎重に精査した上で受入を検討する。資料修復は従来通り進める。

## **(2) 文献・図書資料の収集**

令和8年度も、戦中・戦後の生活関連図書及び戦争に関する基本的図書等のうち、特に戦中・戦後の国民生活に関する図書資料の充実を図ることとする。昭和館収蔵図書の一つの特徴である手記や体験集、戦中・戦後にかけての日本各地の写真集や児童書などの収集に力を入れていく。また、昭和館の伝える範囲の拡大を受け、昭和30～40年代の資料についても調査・収集を進める。

昭和館HPやチラシ等による資料寄贈の呼びかけは継続して行う。

## **(3) 映像関連資料の収集**

令和8年度においても戦中・戦後の国民生活に関する動画、静止画の収集を行う。

## **(4) オーラルヒストリーの制作**

体験者の証言を映像で記録して残すとともに、資料公開コーナーや巡回特別企画展、貸出キットなどを通して公開していくことを目的にオーラルヒストリーの制作を実施している。映像音響室で現在公開している作品数は415作品である。

令和8年度においても、戦中・戦後の苦しかった生活の実態や戦後復興にご苦労された方の証言も加え、内容の充実を図っていく。

# **6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部活動事業**

昨年度に引き続き、毎月1回の定期講話会及び講話派遣を実施する。

また、講話の充実と「次世代の語り部」としての知識や意識の向上をはかるために、語り部間での意見交換や外部の語り部との交流会などを行う。

# **7 情報検索システムの充実**

## **(1) 図書・雑誌資料のデータ入力**

図書・雑誌の検索や閲覧のため、令和7年度に受け入れた資料を中心に約900冊の装備と書誌データ・目次データの入力を行い、来館者が利用できるようにする。

## **(2) 図書・雑誌資料のデジタル化**

資料の破損などによって原本を提供することが難しく、デジタルデータでの提供に移行した方がよいと思われる雑誌を中心にこれまでデジタル化を進め、館内アーカイブで公開してきたが、令和7年度から昭和館デジタルアーカイブで一部資料の公開を開始したことから、引き続き図書資料についても順次デジタル化を進めていく。

### (3) 映像・音響室におけるデータ公開

昨年度に引き続き、収集した資料の整理を行い館内アーカイブ及び昭和館デジタルアーカイブでの公開を進める。前年度から継続して整理を行っている主な資料は以下のとおり。

資料種別	内容
写真	・平成9年度に入手した石川光陽氏の写真 整理公開済の資料についても再精査を実施している。 ・令和元年度に入手した師岡宏次氏の写真 ・令和5年度および令和6年度に入手した愛児の家所蔵写真
映像	寄贈フィルムのデジタル化など
音響	寄贈及び来館者から公開のリクエストを受けた資料、国立国会図書館が配信する「歴史的音源」にない資料を中心にデジタル化（音源データ化、盤面画像撮影）。

## 8 資料の公開

### (1) デジタルアーカイブの充実

昭和館デジタルアーカイブは、令和7年度に引き続き公開資料点数の増加をはかる。

### (2) 昭和館懐かしのニュースシアター

収集したニュース映画を「昭和館懐かしのニュースシアター」で毎日上映しており、引き続き実施する。プログラムは毎週土曜日に更新しており、戦中・戦後の同時期に撮影されたニュース映画を紹介するとともに、過去に制作したオーラルヒストリーについても上映していく。

### (3) 写真展（2階ひろばにて）の開催

令和8年度は、2階ひろばをより有効に活用するため改修工事が行われる。改修工事完了後、所蔵写真をより多くの方に知っていただくため、2階ひろばで写真展を開催する予定（会期等は未定）。

### (4) 資料公開コーナーの運用

5階映像・音響室及び4階図書室の利用促進と、収蔵資料をさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に1階ロビーの「資料公開コーナー」で、写真、映像、SPレコード、図書・雑誌などを紹介する展示を継続して行う。話題の事柄等をテーマに取り上げて、年4回程度の展示を行う。

### (5) 館内の検索システム

収集した図書資料をはじめ、映像資料、静止画資料、音響資料などの資料データベースの作成及び映像、静止画、音響資料のデジタル化を行い、館内の検索システムで順次公開していく。

## **(6) 資料紹介**

図書室では、テーマを設定した関連資料の紹介を定期的に行うとともに、時事的なトピックや特別企画展や写真展等に関連する資料については随時紹介していく。

また、夏休みには子ども向けワークシート等を作成し小・中学生の利用促進を図る。

## **(7) 昭和館SPレコード鑑賞会**

昭和館所蔵の戦前・戦中・戦後の楽曲や漫才等のSPレコード資料を多くの来館者に紹介するため、鑑賞会を開催する。

## **(8) SNSの活用**

エックス（旧ツイッター）やフェイスブックを活用し、ニュースシアターの番組紹介、図書室での資料紹介等を随時アップして来館者の利用促進を図る。

# **9 関係施設との連携**

戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、戦争を知らない世代への継承を図るため「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」が連携して事業を推進する。

## **(1) 関係施設等連携会議の開催**

年2回関係施設等連携会議を実施予定。

## **(2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」の実施**

令和8年7月から9月まで実施予定。

## **(3) 巡回特別企画展の相互協力**

富山県における巡回特別企画展（「しょうけい館」、「平和祈念展示資料館」と「3館連携企画展」）の開催

会期：令和8年9月3日（木）～9月13日（日）

会場：富山市民ギャラリーアートギャラリーA、B、C

## **(4) 移動教室（千代田区立九段生涯学習館）について**

平和祈念展示資料館が実施予定の特別展（千代田区立九段生涯学習館）との連携を行う。

# **10 運営専門委員会の開催**

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、令和8年度も昭和館運営専門委員会を2回開催予定。

## 1 1 昭和100年記念事業

昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎えることから、昭和100年の記念事業について検討を進め、予算の範囲内で効果的な取組（スタンプラリー、映画鑑賞会等）を実施する。

- ① 特別映画上映会  
戦争の記憶の継承について考える映画等を上映する。
- ② 昭和100年記念スタンプラリー（達成度の応じた粗品贈呈）